

# ■ 静岡新聞広告賞 2019

「クルマを、売るな。/ 駄菓子屋になれ。」 静岡トヨペット

◆ 2019年7月19日、28日 朝刊 全15段 <全県版>

◆ 電通東日本 CD: 瀬島裕太 (電通東日本) PL: 笠原遼太 (電通東日本) C: 片桐義晴 (WORD FREAK)

AD: 宇佐美敦史 (PROJECT MONKEY) AE: 川上智己 (電通東日本)・中川直暉 (電通東日本)

## クルマを、 売るな。

クルマ屋なのに、クルマを売らない。これは、『キラキラ探検隊』をスタートさせたときに決めた私たちのルールです。冒険する人にとっては、お宝の情報以外はいらなから。実はこの『キラ探』、全32ページの「宝の地図」25万部を無料で配らせていただいたり、いつもと違う仕事が増えたり、お金と時間がとんでもなくかかっています。それなのにクルマを売らないなんて、営業マンは大汗が止まりません。本当のところ、1回しかできないかなというのが、当初の感じでした。さらに『キラ探』がはじまると、「蜂の巣バスター (Episode-1)」など体験したことのないトラブルつき。スタッフは「現場へ緊急出動」するなど、いつもとは違う汗をかくこともしばしば。ところが同時に、「楽しくて、楽しくて…」「カンゲキ! 父娘のほっこりタイム (Episode-2)」など、『キラ探』がなければ経験できなかった素敵なエピソードがいっぱい寄せられました。思いもよらないその内容に私たちの心は震え、やめるなんて誰も言えなくなりました。こんなに多くの人が笑顔になる機会をつくれるのなら、ご家族が感動する物語のサポートができるなら、そのときクルマを売らないことくらい、何でもありません。静岡に生きる静岡トヨペットとして。

Episode-1 蜂の巣バスター: 探検隊が「宝の地図」を受け、脱出スプレーを持って緊急出動したものの、土の中にある巣の大きさにビビり、プロに依頼することに、あー焦った。  
Episode-2 カンゲキ! 父娘のほっこりタイム: それまで二人きりで話すことがあまりなかった父娘が同居したコメント。「人生で一番楽しい親子の時間でした」

→ 次回「駄菓子屋になれ。」(7/28掲載予定)

明日  
7/20(土)から  
スタート!!

**キラキラ探検隊**  
伝説の海賊団と世界へのトビラ

みんなで参加! 目指せ10万人!!

社長:「早いもので今年で5年目ある。そろそろ静岡県民の3%くらいは参加してくれるんじゃないか?」  
社員:「社長、本気だったんだ…」  
社長:「10万人の冒険者を全力でお迎えする“キャスト”になるんだ!」  
社員:「オ、オーッ!」

絶対に損は  
させません!



キラキラ探検隊の  
詳細はコチラ

すべては、選ばれる 静岡トヨペット であるために。

<https://www.shizuokatoyopet.jp>

Shizu  
tetsu  
SHIZUOKA TOYOPET

# 駄菓子屋 になれ。

「ランドセルをおいてから遊びにおいで」平日の午後、小学生に声をかける店長。これは駄菓子屋さんではなく、静岡トヨペットのWONDER LAND店(Episode-3)での日常です。WONDER LAND店は、目指せ、街の駄菓子屋さん。クルマ屋なのに、道沿いにはたくさんの木々と楽しそうな遊具がいっぱい!なんだか見た目だけでもウキウキします。さらにここは子どもたちが騒いでも、走っても、歌ってもOK。そんなわんぱくキッズたちのために、私たちは『アタリ』『オマケ』を用意します。夏にはお店のお兄さん、お姉さんがカブトムシを買ってきて(笑)、お店の木に放したり。見つけた子は『アタリ』!!さらに、お店のガーデンで「オリーブ実つけた(Episode-4)」、プレミアムコンサートをきっかけにした「プレゼントは電子ピアノ(Episode-5)」など、ホンモノの体験ができた子は『大アタリ』!!静岡トヨペットに遊びに行くと、子どもがはしゃぎまわって夜早く寝てくれる『オマケ』は、ママのために。子どもたちの「楽しむ姿」や「健やかに成長する姿」が気になって仕方がない大人となれたのは、私たちスタッフにとっての最大の『オマケ』。街の駄菓子屋のおじさん、おばさんがそうであったように…。静岡トヨペットはこれからも『アタリ』『オマケ』あふれるコミュニケーションスペースを静岡に創りつけます。静岡とともに生きていくために。

(Episode-3) WONDER LAND店: 大人も子どもも楽しくって仕方がない、そんなお店がWONDER LAND店。現在静岡県内に6か所、SKIP会員のみんなが大人になる頃には全店舗でできるかな?  
(Episode-4) オリーブ実つけた: WONDER LAND店には、オリーブやレモンの木が育っていて、季節ごとに様々な変化が! こどもの健やかな成長を願うように、木々の成長も日々の楽しみですよ。  
(Episode-5) プレゼントは電子ピアノ: 「プレミアムコンサート」を体験した小学生の娘さんが、「クリスマスプレゼントは電子ピアノがほしい!」と突然リクエスト。ママはとてもびっくり!

→ Episode 1・2が紹介されている7/19掲載の広告「クルマを売るな。」は、「静岡トヨペット」のHPでご覧ください。

第2弾 開催決定!

ワクワクする  
学びと遊びがいっぱい!  
「SKIPランド」  
11/2(土)3(日)開催!  
開催場所:  
ツインダス静岡北店  
入場無料

「アタリ」オマケがたくさん見つかる!!

キッズクラブ  
スキップ

入会しないなんて  
もったいない!!

QRコード  
SKIPの詳細はコチラ

そっと教えます!「キラッキの秘密」

社長:「キラッキは、七夕の日に伊豆の天城山中で生まれて、小さい頃に家族とはぐれてしまったんだ。」  
社員:「へえ〜」  
社長:「キラッキの一族は星を造るのが仕事なんだけど、キラッキはまだ造ることができないんだ。」  
社員:「ふーん」  
社長:「あとな、キラッキはもうひとつ、「スキップ」もできないんだって。」  
社員:「えっ! そうなんですか! ?」

静岡トヨペット マスコットキャラクター「キラッキ」  
キラッキのデザインは、星に似ている子供たちの笑顔がモチーフです。

すべては、選ばれる **静岡トヨペット** であるために。

<https://www.shizuokatoyopet.jp>

Shizu  
tetsu  
静岡トヨペット

## 【企画意図】

静岡トヨペットは、静岡の地域に根差す「カーディーラー」ですが、普通のクルマ屋さんではありません。社員総動員で、リアル宝探しイベント「キラキラ探検隊」を毎年行ったり、子どもがホンモノ体験できるコミュニティ、キッズクラブ「スキップ」をスタートさせたり、遊具や緑溢れるワンダーランド店舗を次々オープンさせたりと、カーディーラーの枠を超えたユニークな取り組みばかりです。その静岡トヨペットの企業姿勢を、「クルマを、売るな。」「駄菓子屋になれ。」という逆説的なコピーで表現し、「社外秘」というフレームで、通常語られることのない裏話を原稿にしました。